

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2021年 7月

事業所名 放課後等デイサービス虹の郷

保護者等数(児童数) 21 回収数 10 割合 48 %

	チェック項目	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか		プレールームを広く使いやすいように工夫し、学習室など、状況に応じて利用できる
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか		基準人員をみだし、児童指導、保育士、教員を配置している
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		室内には段差等がなく、トイレなどに手すりなどを設けている
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか		保護者からのご意見をいただき、また利用者の様子などをもとに職員間で支援方法を検討して作成している
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか		毎月の活動計画、振り返りを行い、日々の内容に変化を持たせている。また同じ活動も発展性を持たせて継続しているし外出などの活動も行う
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		コロナ禍に伴い児童館などの利用が出来ず、今後収束後には利用を検討していきたい
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか		面談時や送迎時または電話などで対応している
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		メールや電話、送迎時に保護者に施設内また家庭での様子をお話したり、保護者との会話時間を持っている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		保護者より相談依頼があった場合、また利用者変化があった場合などに連絡を取り対応している
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		保護者の意向にそうかたちで対応していく また郷カフェを再度行い、保護者間の交流の場を設けていく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		家庭に向くことや電話などで連絡を取り、迅速また適切な対応を行っている。また職員間でも共有し今後の支援に繋げていく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		職員間で子どもの様子など共通理解した上で、送迎時またメールや電話などで利用時の様子を伝えることや家庭での様子を伺い、 また、子どもの思いも併せて伝えるようにしている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		ホームページにて発信している また郷新聞の発行を再度行っていくj
14 個人情報に十分注意しているか		シュレッターなどの利用、また職員自身チェックリストなどで情報の取扱いに気を付けている	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		契約時に説明し、変更があった場合には文書の差し替えと説明をしている
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		活動の中に取り入れ、災害別に想定した訓練を定期的におこなっている
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか		活動を楽しいと思ってもらえること、また利用者が落ち着いて過ごせる場所の提供をしていく
	18 事業所の支援に満足しているか		保護者とのつながりを持ち、安心して預けられる場所としての支援を行っていく

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：2021年 7月

事業所名 放課後等デイサービス虹の郷

保護者等数(児童数) 21 回収数 10 割合 48 %

	チェック項目	実数					割合
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	合計	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	2	1	2	10	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	3	0	3	10	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3	0	2	10	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	9	0	0	1	10	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	9	1	0	0	10	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	3	1	10	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8	2	0	0	10	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	2	0	1	10	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3	0	1	10	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	3	2	10	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	0	1	10	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1	1	1	10	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	0	0	9	
	14 個人情報に十分注意しているか	9	1	0	0	10	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1	1	0	10	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	1	1	10	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	1	0	0	10	
	18 事業所の支援に満足しているか	8	2	0	0	10	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。